

- 第1回ワークショップで皆様からいただいたご意見を8つの視点で整理し、まちづくり・公共施設全般に関する課題解決の方向性と、地域の将来的な公共施設の再編方針(案)を用途別にまとめました。これについて皆様の意見をお聞きしながら、改善していきます。

1. まちづくり・公共施設全般に関する課題解決の方向性

- まちづくりや公共施設全般に関する課題解決の方向性を整理しました。

視点	まちづくりや公共施設全般に関する課題解決の方向性（案）
①地域性の考慮 ○9地区の成り立ち、地理的に独立している。 ○お祭り等文化活動の伝承が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ● 9つの地区の特色を活かしたきめ細やかなまちづくりと公共施設整備を目指す。 ● お祭りや地域の行事を大切に、保存・活性化する。 ● 山や川で分断されていることに配慮したアクセスを維持・利便性を向上させる。
②地域資源の活用 ○豊富な地域資源を活かしきれしていない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域にある公共施設を地域資源として、再度見直し、一層の活性化に役立てる。(杉風荘・美術保存館・資料館・スポーツ施設など) ● 伝統文化を保存継承する施設を大切に残していく。 ● 公共施設など地域資源を集約させ、集客、回遊性向上、相互利用促進などを狙い、地域の活性化を図る。
③地域コミュニティの維持 ○9地区ごとにコミュニティ活動を支える施設が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ● それぞれの地区の活動拠点を今後も確保する。 ● 地域行事の場を今後も確保する。 ● 必要な避難所を確保する。
④子育て環境の充実 ○少子化が顕著になる。 ○子どもの居場所が減少。	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設の整備・活用を通じて地域全体で子育て環境を充実させる。 ● 小中学校の児童生徒数の減少について地域の子育て環境における課題として検討を行う。
⑤安全性の確保 ○適正な避難所配置・災害対策への不安・懸念がある。	<ul style="list-style-type: none"> ● 避難所を地区ごとに必要なだけ確保する。 ● 避難所の耐震性を確保する。 ● 危険が予測される河川やがけ地などの近傍への配置を避けるよう配慮する。
⑥機能性・利便性の向上 ○利用・稼働の少ない施設が散在している。	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政サービスを施設単位ではなく機能としてとらえ、サービスの集約化を図り、より利便性を高める。 ● 古くなったり、稼働率の低いスポーツ施設・観光施設を整理し、新しい施設を整備したり、改修により再生することにより集客、利便性向上を目指す。
⑦運営の工夫 ○各公共施設の知名度が低く、稼働率も低い。 ○民間や地域の運営ノウハウが活かされていない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 知名度・稼働率の低い施設について、市内外に積極的にPRを行い、人を呼び込むなど再活性化を図る。 ● 民間活力の導入を促進し、農業体験など新たな付加サービスの創出を図る。 ● 民間の運営ノウハウを取り入れて、魅力的な空間作り、柔軟な開館時間、PRなどのサービス向上を促進させる。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政の縦割りによる施設配置・運営の支障を減らす。 ● 地域組織による施設運営の機会・範囲を広げ、次世代の担い手を育成する。
<p>⑧将来負担の軽減 ○老朽化が進む施設が一斉に更新時期を迎え、多額の費用がかかる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 老朽化が進む施設・利用率が低い施設は整理統廃合を検討する。 ● 統廃合により節約した資金を、残る施設の機能充実に充てる。

2. 地域の将来的な公共施設の再編方針(案)

(1) 集会施設

対象施設	八尾公民館、保内公民館、杉原公民館、卯花公民館（卯花地区コミュニティセンター）、室牧地区コミュニティセンター、黒瀬谷公民館、野積地区コミュニティセンター、仁歩地区コミュニティセンター、大長谷交流センター、八尾ふらっと館、黒瀬谷交流センター、八尾農村環境改善センター
ワークショップで出された意見等(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 八尾地域は山が多く、山で地区が分断されているので簡単に隣の地区には行けない。 ○ 9つの地区は、地域性や築いてきたコミュニティが違う。 ○ 集会施設で築年数が経過しているものと、そうでない公民館があるが、小学校統廃合の条件で新しくした公民館（仁歩地区、室牧地区、野積地区）がある。その他、八尾小学校は5校を統合した経緯もある。 ○ 各地区の公民館が地区住民の活動拠点となっている。各地区にある現状のままが良いのではないか。 ○ 施設が地域からなくなることで、地域の過疎が進むことは避けたい。 ○ 集会施設は会合のために使われるだけでなく、避難所としての機能もあるので地区ごとに必要なものだ。 ○ 避難所によっては建物の耐震に課題があったり、低地や川の近くなどに立地していることでの不安があったり、避難場所が遠くにあることによる高齢者のアクセスの問題もある。 ○ 中山間地域においては人口が少なくなったからといって施設を減らしてしまうと災害時の避難所や集会をする場がなくなり、生活に支障が出てきてしまうのではないか。いざというときに避難できる施設が近くにある状態が望ましいと思う。 ○ 避難所として施設を残すとしても維持管理には費用がかかる。すべてを残すのではなく、施設を絞ってしっかり防災機能にも予算を配分できるようにした方が良い。 ○ 黒瀬谷交流センターは畳の部屋がない。使う用途によって必要になるのではないか。 ○ 榎尾小学校は空き教室がある。黒瀬谷交流センターで会議が行えない場合は小学校の教室を使うことはできないか。今でも地域の人に門戸を拓けるために地域住民と児童の交流の場も行われている。方向性として小学校を地域の行事などにも使えるようにするのが良いと思う。 ○ 黒瀬谷公民館と黒瀬谷交流センターは統合しても良いかもしれないが、管轄が違うと思うので難しいのではないか。統合する際には、行政の縦割りを見直さないと統合自体ができなかったり、統合しても使いにくいものになってしまう懸念がある。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人口減少などを理由に小学校の統廃合が進んでいるので、公民館の統廃合も必要になってきていると思う。改めて役割や必要性を議論したうえで、廃止等を検討するべきだと思う。 ○ 黒瀬谷公民館と黒瀬谷交流センターは近隣にあり、同じコミュニティの単位である。公民館の老朽化も進んでいて、地区住民も黒瀬谷交流センターを利用する傾向があるので、現在の公民館を廃止して交流センターと統合するということは検討しても良いと思う。 ○ 卯花公民館と八尾農村環境改善センターは、同じ地域にあって老朽化しているため、整備を検討するタイミングで一つにできるのではないか。 ○ 保内地区と杉原地区は平地だし、中学校が統合されることも考えると、集会施設を統合する可能性があるかもしれない。
今後の方向性案 (中長期)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 9 地区ごとに公民館または地区コミュニティセンターのいずれかを存続させる。 ○ 地区ごとに避難所が配置されるよう配慮する。
短期的な取組み (5 年を目途に見直しに着手する優先的 検討施設)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 黒瀬谷公民館と黒瀬谷交流センター等を集約化する。 ○ 卯花公民館、地区コミュニティセンター及び八尾農村環境改善センターを集約化する。

(2) 文化施設（ホール、その他文化施設）

対象施設	八尾コミュニティセンター、八尾コミュニティセンター分館・杉風荘
ワークショップで 出された意見等 (再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市内中心部と八尾地域を比較すると、八尾地域は、お祭りや地域の行事への想いが強く、人のつながりが深い地域が多い。 ○ 杉風荘は地元にとってシンボリックなものだったので、残してもらったという過去の経緯がある。 ○ 杉風荘は、利用率が低く、市が維持する必要があるのか疑問である。元料亭で魅力的な建物だから残したほうがよいということであれば、維持・管理を民間に任せるなどして運営方法を工夫したらどうか。 ○ 杉風荘など、利用率の低い施設は民間に売却するなど、民間活用を促すという方法もあるだろう。 ○ 施設の管理運営を市が行うと、開館時間の延長や土日の開館が難しい。規制があって飲食ができない施設もある。民間に委ねれば、運営に柔軟性が生まれ、より使いやすくおもしろい施設になるので、利用率も上がるのではないかと。もしくは市が方針を変え、柔軟に対応できるようになってほしい。
今後の方向性案 (中長期)	
短期的な取組み (5 年を目途に見直しに着手する優先的 検討施設)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 杉風荘は、地域の資源として再活用するなど、売却や譲渡等によって民間のノウハウの活用を図る。

(3) 図書館、博物館等

対象施設	八尾図書館、八尾東町分館、八尾美術保存館、八尾化石資料館
ワークショップで出された意見等(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 八尾美術保存館や八尾化石資料館は現在、休止中や期間を限定して開館している。人に見てもらうためにも人の集まる場所へ移転するのが良いのではないか。 ○ 以前は八尾化石資料館の周辺には整備された公園のような場所があり、子どもが遊べるようになっていた。 ○ 八尾化石資料館は、もっとアピールして利用者数を増やしていくことで、残していきたい。 ○ 八尾美術保存館や八尾化石資料館も現在の立地のままにするのであれば、地元の小学生に見てもらうように案内するなど、別の使い方で利用率を上げる方策などを考えた方が良い。 ○ 八尾化石資料館の隣には、市が運営している無料のパークゴルフ場や、マウンテンバイクに乗ることができる施設がある。一体的に民間委託をするなどして魅力的な空間にしてもよいのではないか。 ○ 図書館は分館もあるが、八尾図書館と統合しても構わない。その分ふらっと館を別の用途の活用につなげるのが良いのではないか。 ○ 八尾美術保存館は、昔は美術作品を観ることができたが、現在は保存しているだけである。引き続き保存するだけの用途であるのであれば、この場所にある必要はなく、どこかと統合しても良いのではないか。 ○ 八尾美術保存館には美術品が保存されているが、作品は見てもらってこそ価値があると思うので、廃止してどこかに展示した方が良い。
今後の方向性案(中長期)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 博物館、美術保存館は、文化財や遺跡を保存するだけでなく、多くの方に見てもらうために、積極的なPRや他の施設との機能連携による利用者増を図っていく。
短期的な取組み(5年を目途に見直しに着手する優先的検討施設)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 八尾化石資料館は、科学博物館との連携や民間活力の導入などにより、あり方を見直す。 ○ 八尾美術保存館を集約化する。 ○ 八尾図書館と八尾東町分館を集約化する。

(4) スポーツ施設（体育館、プール、その他スポーツ施設）

対象施設	八尾スポーツアリーナ、八尾 B&G 海洋センタープール、スポーツ・カヌーセンター、八尾ゆめの森テニスコート、八尾パインパーク、八尾サンパーク
ワークショップで 出された意見等 (再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ・カヌーセンターは、立派なカヌーコースがあるので、合宿の誘致などによって活用できれば、県外の人を訪れる施設になり得ると思う。 ○ 八尾ゆめの森テニスコートは中学生が使っているのを見かけるが、中学校が移転してしまうと学校から遠くなるので使いにくくなり、利用率が下がってしまうのではないかと。それならば新しい中学校から近い場所に、一般の人でも使える様なものがあつた方がよい。 ○ スポーツ・カヌーセンターは、田んぼの時期になると水を抜かなければいけないなど、使用する時期が限定されているのはもったいないと思う。 ○ スポーツ施設は古くなると足が遠のく。古い施設にテコ入れしてお金をかけたり、維持コストをかけるのはもったいない。それなら新しい施設を作る方がよい。 ○ 八尾パインパークやスポーツ・カヌーセンターは、積極的に PR して利用率をあげていければ良いと思う。 ○ スポーツ・カヌーセンターは、世界で活躍する選手も来るため、もっと多くの人に知ってもらい、利用していただくと良い。
今後の方向性案 (中長期)	○ 利便性・アクセス性を向上させるための移転・集約化などを行う。
短期的な取組み (5 年を目途に見直しに着手する優先的検討施設)	○ 管理コスト縮減のために、利用時間の短縮などの効率的な維持管理方法へ見直す。

(5) レクリエーション・観光施設

<p>対象施設</p>	<p>おわら演舞場、おわら資料館、曳山展示館、ほたるの里農村公園、県立自然公園、神通川水辺プラザ、白木峰山麓交流施設、八尾ゆめの森（ゆうゆう館一帯）</p>
<p>ワークショップで 出された意見等 (再掲)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 八尾地域にはおわら資料館や曳山展示館など文化や歴史を伝える施設がある。これらの施設は大切に残していきたい。 ○ 八尾地区住民にとって、曳山展示館とおわら資料館は、観光施設と資料館としてのそれぞれの役割を尊重しながら、よく連携をとっていると思う。また、来場者にはそれぞれの施設が貴重な役割を担っていると思っている。ただ、八尾地区以外の人からすると八尾地区住民とは思うことは違うかもしれない。 ○ おわら資料館や曳山展示館は 1 つにまとめても良いと思う。八尾はおわら風の盆が一大イベントだが、施設の中で曳山を一緒に見てもらうと相乗効果がある。 ○ 観光客のことを考えると、おわら資料館や曳山展示館などの施設は 1 つにまとめるのではなく、八尾旧町のエリアに複数配置した方が回遊できて良い。 ○ 曳山展示館は、観光施設としてだけでなく、旧町の打合せ・会議を場としても利用されている。八尾地区の集会施設、コミュニティの場としても大切である。 ○ ほたるの里農村公園は、ほたるの時期以外に行っても楽しめないなので、年間を通して外から人を呼ぶ施設としては利活用が難しいと思う。 ○ ほたるの里農村公園は仁歩地区の自治振興会が運営に携わっている。人口が減少しているということは、運営の担い手も減っているわけなので、今後も続けていけるのかという不安がある。 ○ インターネットで富山市でほたるが見られる施設を調べても、ほたるの里農村公園は出てこない。周知しないと知ってもらえないし、来てもらえないと思うので、利用率を上げるための広報に力を入れた方が良いのではないかと。
<p>今後の方向性案 (中長期)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光客が利用しやすい配置・機能のあり方を検討する。 ○ ハード（複合化・集約化による連携強化）、ソフト（相互利用の促進・連携強化）の両面から各観光施設の連携を図る。 ○ 集会機能については、公民館・コミュニティセンターの配置状況も考慮して見直す。 ○ 多くの方に利用してもらうために、積極的な PR や他の施設との機能連携による利用者増を図っていく。
<p>短期的な取組み (5 年を目途に見直しに着手する優先的検討施設)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほたるの里農村公園の運営見直し、または廃止も含め、あり方を見直す。

(6) 産業系施設（産業振興施設）

対象施設	白木峰山麓体験農園、林業総合センター
ワークショップで 出された意見等 (再掲)	○ 白木峰山麓体験農園は、周辺にジビエ料理の店があったりするのでそういう所と連携して、民間で運営していくことが考えられる。その方が活用できるのではないか。
今後の方向性案 (中長期)	
短期的な取組み (5年を目途に見直しに着手する優先的検討施設)	○ 白木峰山麓体験農園について、民間または地元団体が運営を行い、施設の活用促進のため、譲渡などを検討する。

(7) 学校（小学校、中学校）

対象施設	八尾小学校、杉原小学校、保内小学校、榎尾小学校、八尾中学校、杉原中学校
ワークショップで 出された意見等 (再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校の統合は地域行事の開催場所がなくなる点や、避難所がなくなる点で地域住民の生活にも影響が出る。 ○ 子どもの遊べる遊具が地域全体で少ない。公園や運動場など自由に使える場所が少ない。 ○ 榎尾小学校も全てのクラスが複式学級となり、人数が少なくなっている。 ○ 榎尾小学校は空き教室がある。黒瀬谷交流センターで会議が行えない場合は小学校の教室を使うことはできないか。今でも地域の人に門戸を拡げるために地域住民と児童の交流の場も行われている。方向性として小学校を地域の行事などにも使えるようにするのが良いと思う。 ○ 榎尾小学校は、児童数も少ないため、空き教室等の利活用の検討は進めたい。また、小学校の統廃合も検討しないといけないと思う。 杉原中学校の跡地を地区住民としていかに活用するかが課題となっている。公園がないという声もあるので、緑地やスポーツ公園として活用できないか検討している。
今後の方向性案 (中長期)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 適正な教育環境の確保という観点から、学校統廃合など、今後の小中学校のあり方について、地域の意見も踏まえながら継続的に取組みを進める。 ○ 老朽化が進む施設について、安全性の確保及び機能維持・向上を行う。 ○ 将来の人口動態を見据え適正な規模とするために、他用途への転用見込みがない場合には、建替え等大規模改修の際に減築を行う。
短期的な取組み (5年を目途に見直しに着手する優先的検討施設)	○ 八尾地域の実状に合わせて、学校の適正配置の検討を行う。

(8) 幼保・こども園（保育所）

対象施設	八尾保育所、福島保育所、黒瀬谷保育所
ワークショップで 出された意見等 (再掲)	○ 人口減少が原因で公共施設を減らす必要があるということが議論になっているが、そもそも人口減少に対策を打たないといけないと思う。子育てしやすい地域にしていけば、人口減少は避けられるのではないか。
今後の方向性案 (中長期)	○ 子どもの将来的な人数を想定したうえで、ニーズに対応した施設を着実に確保する。 ○ 老朽化が進む施設について、安全性の確保及び機能維持を図る。 ○ 少子化によって既存施設が過大となる場合は、規模を縮小させる。
短期的な取組み (5年を目途に見直しに着手する優先的検討施設)	

(9) 保健施設

対象施設	八尾健康福祉総合センター
ワークショップで 出された意見等 (再掲)	○ 八尾健康福祉総合センターは避難所になっているが、川に近いため大雨の時に避難するには不安がある。 ○ 八尾行政サービスセンターの機能は、現在、福祉系、総務系、教育センター、窓口といった機能のみである。健康福祉総合センターに複合化したら、福祉の部署と連携がとりやすくなる。機能を充実させるということで馴染むのではないだろうか。
今後の方向性案 (中長期)	
短期的な取組み (5年を目途に見直しに着手する優先的検討施設)	○ 行政サービスセンターと健康福祉総合センターを複合化し、八尾地域の行政機能や福祉機能の重要な拠点として、改修整備を行う。

(10) 庁舎等、消防施設、その他行政系施設

対象施設	八尾行政サービスセンター
ワークショップで 出された意見等 (再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 耐震性がないとされている施設をそのまま建てておいて良いのか疑問がある。 ○ 八尾行政サービスセンターの機能は、現在、福祉系、総務系、教育センター、窓口といった機能のみである。健康福祉総合センターに複合化したら、福祉の部署と連携がとりやすくなる。機能を充実させるということで馴染むのではないだろうか。 ○ 行政サービスセンターの機能は残したいが、建物は老朽化していて寂しげな雰囲気である。旧八尾町のシンボルではあったので新しく建替えてもらうのが何よりだが、それが叶わないのであれば、どこかの施設に統合し、機能を充実させるという考え方も良いのではないか。 ○ 行政サービスセンターは、新しくできる八尾公民館に機能を移転することができないか。 ○ 行政サービスセンターは更地にして土地を売り、利用率の低いふらっと館に移転させるのが良いのではないか。 ○ 将来、人口が集中するエリアに公共施設を集めた方がコンパクトシティ化が進むと思う。
今後の方向性案 (中長期)	
短期的な取組み (5年を目途に見直しに着手する優先的検討施設)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行政サービスセンターを解体し、機能を健康福祉総合センターなど周辺の集約化可能な施設へ移転する。